

市民オンブズマンわかやま

ニュース NO60

発行責任者 畑中 正好 発行日 2007年3月20日
連絡先 和歌山市十二番丁10番地 和歌山合同法律事務所内
TEL 073-433-2241 FAX 073-433-2767
http://www.naxnet.or.jp/~wa_obz/ Eメール wa_obz@naxnet.or.jp

石泉閣事業損害賠償請求住民訴訟

民事結着, 旅田元市長の敗訴確定

血税への賠償金計約3億万円

当会が01年10月に裁判に訴え追及してきた旅田卓宗元和歌山市長に対する石泉閣事業費損害賠償請求住民訴訟は、3月2日、最高裁が、旅田元市長の上告を棄却したことにより裁判が結着。結着内容は、大阪高裁も支持した和歌山地裁の判決が確定。同判決は、旅田元市長に約2億5400万円の賠償支払いと遅延損害金の支払いを命じており、3月12日現在でその額は計約3億円に及びます。市民の血税への賠償金、一日も早い支払いが必要です。

最高裁の上告棄却に 策遂行に名を借りて、賠償責任を認めました。住民訴訟の結着 専ら個人的な情誼(愛人)関係にある石泉閣の若おかみらの利益を図る目的で、石泉閣の利用方法や賃料の相当性などの当然予想される問題について具体的な検討を行わずにトツプダウン方式により強引に押し進めたものと認定。そして、若おかみの利益を図る目的をもって行ったことは、市長の立場を利用して公私を混同、裁量権を濫用したとして、損害

確定した和地裁判決は、当会が求めた石泉閣事業が廃止されるまでの賃借料、工事請負費など費用すべてが和歌山市の損害と認め、旅田元市長に対し、和歌山市に賠償支払いをするよう命じました。

旅田元市長の責任について和地裁判決は、旅田元市長が、石泉閣事業について、市の政

策遂行に名を借りて、賠償責任を認めました。専ら個人的な情誼(愛人)関係にある石泉閣の若おかみらの利益を図る目的で、石泉閣の利用方法や賃料の相当性などの当然予想される問題について具体的な検討を行わずにトツプダウン方式により強引に押し進めたものと認定。そして、若おかみの利益を図る目的をもって行ったことは、市長の立場を利用して公私を混同、裁量権を濫用したとして、損害

なお、当会が住民訴訟提起後の03年に、旅田元市長は、石泉閣事業にからんで背任の罪で逮捕、起訴され、05年11月18日和地裁が懲役4年の有罪判決を言い渡しました。旅田元市長は、この判決を不服として控訴し、現在大阪高裁で刑事裁判の審理が継続しています。が、これを理由に支払を拒否することはできません。

旅田元市長は

一日も早い支払を!



県官製談合・汚職事件を検証

木村前知事に「井山被告人から1000万円をいただきましたので。」などと報告。

木村前知事は、「あ、そうか。」と返事

木村前知事は、「あ、そうか。」などと返事をした。

井山被告人に電話で「気をつこてくれたん。すまん。」などと礼をいう

木村前知事は、その翌日ころに、井山被告人と電話で「気をつこてくれたん。すまん。」などと礼を述べた、と

いうのです。

残金500万円
木村前知事の私費として、秘書課長に引き継ぐ

小佐田前副知事は、地方新聞の対策費などに使った残金500万円を木村前知事の私費として、秘書課長に引き継いだ。

その金は、木村前知事の生活費や公費で賄うことができない交際費などに使途

その金は、木村前知事の毎月の知事公舎代、水道光熱費などの生活

費や、家族旅行代金、マイカーの車検代や保険代、公費で賄うことができない旅費、交際費などの支払いに使途したといのです。

懲戒事由

信用失墜行為と全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合に該当

これらに関連する懲戒処分事由として地公法が規定する「職員は、その職の信用を傷つけ、又は職員の職全体の不名誉となるような行為をしてはならない」(33条)と、「全体の奉仕者たるにふさわ

しくない非行のあった場合」(29条1項1)などの適用が考えられます。

小佐田前副知事の行った行為は、木村前知事の私費とはいえ、談合に絡んだ収賄金の授受を行い、その金で地方新聞の批判記事を押さえる行為を行い、裏交際費の管理を秘書課長に指示していたというものです。当該行為が信用失墜行為に該当し、全体の奉仕者たるにふさわしくない非行に該当することは明白です。また、社会的影響は甚大であったのであり副知事という要職にあるものが行ったという点でも情が重く懲戒処分として、懲戒解雇に相当するとしても県民は当然と考えるでしょう。

仁坂知事の対応に県民が怒るのも当然

仁坂知事が、在任中の小佐田前副知事から1000万円の授受にかかわったとの報告受けていながら同氏の退職届けを受理し、退職金を支払い、花束で送り出したことに県民が納得がいけないのもつとものです。

また、仁坂知事が「木村さんの私的な活動。公金が動いたわけでもないのだからばかしい」と切り捨てたと言った、認識不足も著しく県民が怒るのも当然といえます。

この問題に消極的な仁坂知事。退職した職員に懲戒処分できないことをよもや知らないことはないでしょう。ここに積極的になれない理由があると読み取れます。うがって考えれば、退職届けを受理する際、小佐田前副知事に責任を問うことはしないと云っている疑いすらあります。

退職届けを不問のまま受理した仁坂知事の責任は重い

いずれにしても、退職届けを不問のまま受理した仁坂知事の責任は重く許されないとはいべきです。



賄賂・裏金に關与明白の 小佐田元副知事

信用失墜行為であり懲戒相当と思料

3月8日に行われた初公判で、県官製談合汚職事件に關与した木村前知事以外の元県出納帳の水谷聡明被告人、ゴルフ場経営会社元社長
の井山義一被告人ら6被告人は、いずれも起訴事実を認めました。

検察側が明らかにした知事公室長だった小佐田前副知事、公室幹部
らが賄賂の授受、管理への關与の報道を受けて、当会に、「小佐田前副知
事に退職金を支払ったのはおかしい」「仁坂知事は何もしないのか」と
いつ怒りの声が寄せられています。検察が冒頭陳述で明らかにした賄賂
と裏交際費の内容について探ってみました。

年2000、
300万円
を提供

井山被告人は、木村前知事と水谷被告人とで共謀の上、IT総合センターの設計と建築及び、地蔵トンネル工事で談合受注させ、受注謝礼金として計7500万円を得るなどの便宜を図ってもらっていたことから、その謝

礼として、水谷被告人らを紹介して木村前知事に対し、01年から同03年にかけて毎年200万、300万円の現金を供与した。

これらの現金は
小佐田前副知事
が秘書課長に
管理させていた

これらの現金は、小佐田前副知事が秘書課長に管理させていたも

井山被告人は
04年4、5月頃
1000万円を
手提げ袋に入れ
て公室長室へ

井山被告人は、今後の便宜も期待して木村前知事に「分かった。何とかする。」などと答え、1000万円を手提げ袋に入れて持参。

県公室長室で井山被告人は、小佐田前副知事、水谷被告人に対し、「これ、知事のために使ってくれたらええから、知事には言っておるから。」などと言つて、手提げ袋の現金1000万円を応接室のテーブルの上に置いた。

その現金を小佐田前副知事が自己の執務機の引き出しにいれて保管

廊下で分かれる際、井山被告人から「帯封はちゃんと外していいや。」などと言われた水谷被告人は、小佐田前副知事と共に、帯封を破つて輪ゴムに付け替えた。それを小佐田前副知事が、自己の執務機の鍵のかかる引き出しにいれて保管した。

小佐田前副知事は木村前知事に、「井山被告人から1000万円をいただきましたので。」と報告

小佐田前副知事は、

第11回全国情報公開度ランキング

県36位と昨年の5位から急落

県議会関係の低レベルが主要因

木村前知事交際費web情報削除も悪影響

第11回全国情報公開度ランキングが3月16日に公表されました。県は、47都道府県中36位と、昨年の5位から大幅に下落しました。任意で今年も参加した和歌山市は、順位づけはありませんでしたが低レベルでした。

都道府県レベルの情報公開度の順位は、60ポイント、本庁課用の総合得点115ポイントで評価。当県の得点は36ポイントで順位が36位でした。

6 公開対象情報の内容と得点は次のとおりでした。
web上に公表されている知事交際費の相手方情報が対象で、県は、木村前知事の逮捕後、それまでweb上で公表していた情報を削除したため、評価時点では公表されていないという結果であった

県議の政務調査費の報告に関する情報が対象で、一定の5万円以上の支出について領収証を添付しているものの、科目内訳金額の記載はなく、活動の成果、活動内容の記載がなく、視察報告もないレベルであるとして、30ポイント中4ポイントの配点でした、県議会常任委員会の傍聴

民間団体への再就職情報把握していないレベルであるとして24ポイント中12ポイント、本庁舎清掃業務委託の入札予定価格情報が公表されているかなどが対象で、入札後に情報公開請求があれば予定価格を公表するレベルであるとして、10ポイント中6ポイント、

がわかるものの、領収証が開示されず、摘要もわからないレベルであるとして、15ポイント中2ポイント、制度運用は、請求者の範囲が対象で、何人も情報公開請求が可能であることから6ポイント中6ポイントでした。

今回の大幅下落は、議会関係の公開度が低レベルにあることが主要な原因ですが、木村前知事が公表していた交際費情報を削除したままの仁坂知事の判断も影響しています。

和歌山市は、100ポイント中23ポイントでした。任意参加市レベルでは参加数が少なく順位付けはしていませんが、都道府県に置き換えてみると44位です。透明度が伸びない

和歌山市も低レベル



原因は、政務調査費の30ポイント中1ポイントだったことが挙げられますが市長部局でも総じて低レベルでした。市長は、情報公開に背を向けているとこれまでも批判してきましたが、ますます後退する傾向からすると、情報の透明化に対する意欲がまったく欠如しており、努力もしていないと批判せざるを得ません。

知事逮捕に思う

田端 宣貞

去年は知事を巻き込んだ、というより知事が主導した談合事件が相次いで明るみに出て、福島、和歌山、宮崎と続いた。

これで終わるか。私はそうとは思えない。これらのほかにも同じような政治風土の地方自治体がある限り、取締当局の腹一つでまだまだ種の尽きることはあるまいと想像する。

かつて私が奉職した和歌山県の場合、三代続いた県職員出身知事のもと、一切の批判勢力を排除して築き上げた一大保守・自民党王国で、県職員組合や建設業者との選挙をめぐるギブ・アンド・テイクの關係は、輸入知事である木村前知事に

あつても例外ではなく、改革の看板を掲げて期待を抱かせながら、裏面では旧態依然のギブ・アンド・テイク關係を温存して臆面もなく談合を主導し、表の顔と似ても非なる裏の顔を秘めていたのである。

事件の発端は遠く木村前知事が大阪府副知事時代に、ゴルフ場経営会社元代表の井山義一容疑者と結んだ親交にある。2000年の知事選挙に、数名の自民党有力国会議員が、四代目に当たる県職員出身候補者を退け、県民が二つに割れて争うのは好ましくないなどと、民主主義に反する理屈をこねて自民党知事候補を木村氏に決めたこと

を覚えている。それは今から思うと、井山容疑者の国会議員に対する働きかけによるもので、そのとき金が渡ったであろうことは想像に難くない。

かくて木村知事が誕生したが、改革派知事と持ち上げられながらも、裏面では県政はそれまで通り乱脈を極め、木村前知事は前出納帳水谷聡明被疑者を介して井山容疑者との腐れ縁を深め、談合、贈賄、裏金など、悪の限りを尽くした犯罪の実態は、連日大々的に報道された通りである。県民不在の保守王国ならばこそやれたのである。この間県民は、一切の批判を封じられて改革派知事の看板にだまされながら、当

然享受するべきはずの生活上、福祉上の利益幸福を損なわれ続けたのであった。和歌山県民は今こそ、お上任せの政治的無関心がどれほどの不幸をもたらすものか得心が行ったことであろう。

談合事件で知事が逮捕されたあとの和歌山県知事選で、和歌山民主党は候補者擁立を見送り、不戦敗というみじめな党の実態をさらけ出してしまった。民主党はいまや保守党の一つに数え上げられるから、和歌山県は保守王国というより自民党王国というほうが正確である。

その自民党王国での、自民党によつて擁立された前知事の逮捕は、戦後一貫して任せてきた自民党県政に対する深い反省と、これまでの県政を一新する覚悟で臨むべき重大な知事選を、民主党はやすやすと棒に振つたの

である。

県政一新を賭けた知事選は、これまで氣息えんえんとしていた和歌山民主党復活の又とない機会であった。自民党県政に拮抗できる党建設のきっかけにするべきだった。

幸い名乗り出た串本町議の志を壮として、全力をあげて支援し、和歌山県民の期待に応えるとともに、和歌山民主党自身飛躍のステップにするべきだった。始めから勝つと決まつた候補者などどこにもない。

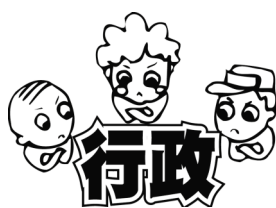
その又とない機会を生かせなかつたのは、自民党王国の風圧の厳しさ、その身動きもできもできないほどの強烈さに手も足もでなかつたのだらう。

そんな自民党王国だから、知事は裸の王様にさられてしまつても気がつかない。議会も職員組合もマスコミも、一切の批判

機能、チエツク機能は麻痺してしまつのが王国の王国たるゆえんである。

その王国の最高権力者である知事は、何でもハイハイと聞き届けられ何でもスイスイと通つてゆく。すべての他人がただ自分の命令を聞くためにあり、言えば通ると考える。その権力の源は選挙にあるのだから、選挙に勝つためには何でもありきになつてしまふ。

その反面で、そんな知事をいただいた県民市民は、収めた税金に見合つた、享受するべきはずの利益や福祉を奪われ、不満足な県民生活市民生活に甘んじていなければならぬのである。



県議会のチェック機能高める改革必要

まず政務調査費の領収証の公開から

全国情報公開度ランキングは、岩手県、宮城県、長野県、鳥取県といった毎回ベスト5に入る上位常連県は、知事部局の情報公開度だけでなく議会の公開度も高いが、これは、知事が議会と緊張関係をたもつことが出発点となっていると指摘しています。

当県は、政務調査費情報をはじめ議会関係の透明度が極めて低い状態にあります。しかし、さきの指摘からすると、当県では、知事と議会の緊張関係が保たれていない結果といえます。

そして、知事と議会の緊張関係のなさ、結果的に議会のチェック機能を麻痺させ、今回の官製談合汚職事件を防止できなかった一因と考えられます。

仁坂知事は、今後の談合防止策を一定講じていますが、談合不正防止策としても、知事と議会の緊張関係を高めることも重要なことだといえます。そのためには、まず、知事としては、少なくとも政務調査費の用途を証する領収証をチェックした上で、政務調査費の決

算、予算を承認することです。議員としても、今回の談合等の不正をチェックできなかったことに鑑みれば、自ら政務調査費の用途を示す領収証を公開すべきであるといえます。このことは、議員が、自らの政務調査費の用途が清廉潔癖なことを県民に示されないようでは、知事が行うことを真にきびしくチェックできるはずもないといえるからです。

従って、談合不正防止の観点からも、知事と議会の緊張関係を高め、県議会のチェック機能を高める改革が必要であり、その一歩が、知事サイドからいうと、政務調査費の用途を証する領収証のチェックであり、議員からすると、それを県民に公開することにあるといえます。県民のみならず、このような改革を是非求めていくのではありませんか。



FMマザーシップに 事務局長が出演しています。

FM 8 8 . 9



インターネットテレビ
にも

<http://www.fm889.net/>

一昨年の10月ころから月1回メインゲストで出演しており現在も続いています。出演日時は、毎月第3金曜日の午後2時からと、午後7時から2回です。また、収録を、第3金曜日のある火曜日の午後7時頃から行っており、それをインターネットテレビで生放送しています。タイトルは「元気な街づくり」です。いつも、オンブズマンに関連するテーマを取り上げて話しています。気が向いたら聞いてやって下さい。

当面の予定

3月20日 PM 4:00 ~
ニュース発送作業
3月22日
市教委開示:不正流用金の調査資料
3月28日 PM 6:00 ~
第6回全員会議
4月20日 PM 4:00 ~
編集会議
4月25日 PM 6:00 ~
総 会
5月14日 PM 6:00 ~
ニュース発送作業日
5月23日 PM 6:00 ~
第1回全員会議

次回会員会議の ご案内

日 時 3月28日(水)午後6時~
場 所 和歌山市勤労者総合センター
(和歌山市役所西隣)
TEL 073-433-1800)
こぞってご参加下さい



第11回定期総会のご案内

次の日程で、第11回定期総会をおこないますので、是非、お越し下さい。報告は、県の談合・汚職事件を中心にいたします。

日 時 4月25日(土)PM 6時~
場 所 和歌山市勤労者総合センター

TEL 073-433-1800